

2026 年度 文化経済学会<日本>研究大会のご案内

2026 年

7月4・5日

(土・日)

2026 年度研究大会は、千葉県千葉市（千葉経済大学）で開催されます

大会の特別テーマは 「産業はなぜ文化を求めるのか——文化投資の新潮流」

経済と文化の関係は、いま大きな転換点を迎えています。近年、建設、不動産、交通、金融、観光、地域開発、さらには、ものづくりやコンテンツ産業など、幅広い分野において、企業や産業が文化・アート・デザインに積極的に関与する動きが顕著となっています。そこでは、文化がメセナやCSRといった周辺の活動にとどまらず、本業の競争力の源泉であると同時に、投資対象であり、都市・地域の価値創造の基盤として、さらには人的資本や組織変革を促す契機として、経営の中核に組み込まれつつあります。

本大会では、「産業はなぜ文化を求めるのか」という根源的な問いに立ち返り、企業の実践を起点とした対話を通じて、文化と経済の関係を多角的に検討します。

とりわけ、

- ・文化は企業活動においてどのような価値を生み出しているのか
 - ・文化への関与はどのような経営判断のもとで行われているのか
 - ・なぜ産業側から文化への関心が高まっているのか
- といった視点を軸に、学術・政策・実務の接点から意見を交わすことで、文化と経済の関係を、産業構造や価値創造のあり方の変容として捉え直す機会としたいと考えています。

■ラウンドテーブル

「産業はなぜ文化を求めるのか——文化投資の新潮流」

○日時：7月4日（土）13:30-16:30

○登壇者：

企業プレゼンター

- ・omusubi 不動産（有限会社トノコーポレーション）[千葉県松戸市]
殿塚建吾氏（代表）

地域に根付くショップやカフェなどとともに、アーティストや作家の創作の場となるアトリエとして使われている、シェアアトリエ・テナント物件を展開。また、まちに開いた場作りや場の運営に演劇的アプローチで貢献。

- ・株式会社中島屋ホテルズ [静岡県静岡市]

鈴木健太郎氏（代表取締役社長）

アーツカウンシルしずおかの「クリエイティブ人材派遣制度」を活用し、プロのクリエイティブ人材と協働。伝統工芸の活用や幹部社員向け研修を通じてデザイン発想を導入し、ホテル施設の改修や社員の思考拡大につながる取り組みを展開。

- ・ヘラルボニー株式会社 [岩手県盛岡市]

曾根秀晶氏（最高執行役員 COO）

知的障害のある作家の表現をアートとして再編集し、企業や市場と接続する事業である。福祉と文化を分けず、表現の価値を経済価値へ転換する新しい文化投資モデルを提示している。

- ・三菱地所株式会社 [東京都千代田区]

大谷典之氏（エリアマネジメント事業部 兼 まちづくり推進部 専任部長、特定非営利活動法人大丸有エリアマネジメント協会（Ligare）事務局長）

都市経営に文化戦略を組み込む先導企業。丸の内エリアを中心に都市開発およびエリアマネジメントを推進。文化を、都市の魅力と価値創出を支える重要な資源と位置づけ、まちづくりにおける新たな価値創造モデルの構築に取り組んでいる。

コメンテーター：

- ・高島知佐子氏（静岡文化芸術大学 / 本学会誌編集委員）
- ・八木匡氏（同志社大学 / 本学会元会長・特別理事）

・綿江彰禪氏（一般社団法人 芸術と創造 / 本学会プログラム委員長）

モデレーター：竹谷多賀子氏（龍谷大学 / 本学会プログラム委員）

司会：江藤慎介氏（地域計画建築研究所 / 本学会プログラム委員）

概要：

本ラウンドテーブルは、「産業はなぜ文化を求めのか」という根源的な問いについて、企業の最前線における実践を起点とした対話を通じ、意見交換を行うことを目的とします。

登壇企業は、不動産・都市開発、宿泊業、地域再生、福祉とアートの接続といった多様な分野において、文化を媒介とした新たな価値創出に取り組んでいます。具体的には、創作の場の設計と運営、クリエイティブ人材との協働による組織変革、障害者アートの再編集による市場接続、都市経営における文化戦略の実装など、それぞれ異なる文脈から文化投資の実践が提示されます。

こうした事例を踏まえ、本学会の多岐にわたる専門領域を有する会員をコメンテーターとして迎えながら、文化は経済に対して何を供給しているのか、なぜ企業は文化を必要とするのか、さらには文化が投資対象となるとはいかなる意味を持つのかといった論点について、文化経済学の視点から構造的に考察します。

本ラウンドテーブルは、文化を「支援対象」や「活用手段」ととどまらないものとして、産業の側から要請さ

れる存在として捉え直し、文化と経済の関係の再編を理論と実践の双方から考察を深めることを目指します。

■分科会

今年度も、分科会ごとに計 24 本の研究・実践事例の発表が予定されています。

1 日目午前中は特別テーマ関連の分科会と会員企画セッション、2 日目は会員企画セッションや多彩な分科会で研究発表がおこなわれます。

■懇親会およびエクスカージョン

本大会では、1 日目ラウンドテーブル終了後の午後 5 時より千葉経済大学にて懇親会（有料）をおこないます。

エクスカージョンに関しましては、本大会では実施いたしません。千葉県内は見どころが沢山ございますので、ご関心がある方は以下の URL を参照してみてください。

ちば観光ナビ：<https://maruchiba.jp/index.html>

■宿泊に関して

西千葉近辺にはほとんど宿泊施設がございません。また JR 千葉駅より先のエリア（内房線・外房線等）では電車の本数が少なくなるため、推奨はいたしません。宿泊は JR 千葉駅周辺か、以東の総武線各駅停車が停車する JR 津田沼駅、JR 船橋駅周辺の施設を、千葉都市モノレールでの移動をお考えの方は千葉みなと駅周辺の施設を確保することをおすすめいたします。

以上